

## 災害救護活動について学びました

10/10

### 災害時のボランティア活動に必要な知識を習得

川根本町赤十字奉仕団（宮野延子会長）は、徳山コミュニティ防災センターで「地域赤十字奉仕団基礎研修会」を開催しました。

研修会には42人が参加し、日本赤十字社静岡県支部職員による赤十字奉仕団と災害救護活動についての講義を受け、炊き出し訓練や三角巾・担架を用いた応急手当訓練を行いました。

赤十字奉仕団は日ごろ、一人暮らしなどの高齢者宅を定期的に訪問し、「心のケア」を心掛けているほか、地域の方とのふれあい、人と人のつながりを大切にできる活動を行っています。



災害救援用ハイゼックス包装食を用いて、炊き出し訓練を実施

10/24

## 諸田信雄さんが「これからの教育」を語る

町内保育園・幼稚園、小中学校、川根高等学校の保護者ら約270人が参加



タブレット型端末を紹介する諸田さん

本町PTA連絡会（梶山基会長）主催で、「平成24年度教育講演会」を文化会館ホールで行いました。前中川根中学校長の諸田信雄さんが「今、言い残したいこと」と題し、これからの教育とまちづくりに関して、講演しました。

諸田さんは38年間の教員経験をもとに「子育て」「ICT教育」「学校の統合問題」についてを語りました。「ICT教育」では平成32年に開始される予定のデジタル教科書移行に触れ「タブレット型端末がランドセルの代わりになる時代がくる」と紹介しました。

## 本町園児が「震度7」の揺れを体験

10/30

町内3保育園とさゆり幼稚園の園児65人を対象に開催

島田市消防本部予防課と金谷消防署川根北分遣所は、東海地震などの災害に備え、園児を対象に起震車による地震体験を企画しました。

幼少期から地震に対する知識と想定される揺れを体験してもらおうと県所有の起震車を使用し、緊急地震速報のアラームを耳で確認後、震度7に設定された揺れを6人ずつ体験しました。

園児らは激しい揺れに驚きの声を上げ、中には泣き出す子もいました。消防署員からは「揺れを感じたら何かにつかまり、頭を守ってね」と声が掛けられ、地震への対処法を学びました。



起震車で「震度7」の揺れを体験する園児

## 10年前の手紙は届きましたか

10/17

10年の時を経て、当時の「自分に」「家族に」「希望に」思いをさせ1,104通

旧中川根町町制施行40周年記念事業として、平成14年度産業文化祭会場にて専用ポストに投函していただき、役場広告塔付近に埋設した「10年後への手紙」。今年10年を迎え、当時実行委員の橋本嘉子さん(高郷)、富田伊代さん(水川)、当時の中川根郵便局長・根岸英一さん(徳山)、現・同郵便局長の中原正弘さん(久野脇)が立ち会い、掘り起こしました。

橋本さんと富田さんは「10年前の思いを読むのが楽しみ」と話していました。10月29日、当時投函された皆さまに発送しました。



左から富田さん、橋本さん、根岸さん、中原さん

11/1

## 寸又峡プロムナードコースで社会実験

今後、利用者アンケートなどを踏まえ、検討するために



ゴルフカートと車いす(写真㊤)の大村いしさん

11月1日から10日間、寸又峡温泉開湯50周年記念実行委員会は「誰もが訪れることのできる寸又渓谷を目指す事業」を実施。夢の吊橋まで車いすなしで行くことが困難な高齢者や障がい者などの皆さんにも、寸又渓谷を楽しんでもらおうとゴルフカートガイド付きで走らせる社会実験を行いました。

初日のカート出発式には、大村いしさん(千頭東=93歳)が招待され「私のような足腰が弱い人でも、吊橋まで行くことができうれしい」と話し、とても喜んでいました。

## 蕎麦粒線の環境美化活動を実施

10/17

杉川分岐から山犬段駐車場まで実施しました

大井川地区治山工事協議会は、林道蕎麦粒線でボランティアによる環境美化活動を行いました。参加したのは(株)梶山組、(株)柳澤組、(株)グロージオ、河津建設(株)の4団体計13人です。

大井川治山センター管内の林道などで毎年実施しており、日ごろ業務に携わっている治山や林道の工事現場でゴミ拾いや支障木の枝払いを行いました。

紅葉シーズンは、週末になると多くの観光客が訪れます。環境美化活動は本町のイメージアップにもつながり、活動に感謝します。



車を傷つける支障木などを枝払いしました